

研究分野	海洋構造	機関・部	水産総合研究所・漁場環境部
研究事業名	漁業者参加型漁場監視体制整備事業		
予算区分	研究費交付金(青森県)		
研究実施期間	H13～H22		
担当者	大水 理晴		
協力・分担関係	青森県水産振興課、青森地方水産業改良普及所、むつ水産事務所		

〈目的〉

漁業者自らが漁場環境の積極的な監視活動を行うことにより、漁場保全及び監視に対する意識の向上を図る。

〈試験研究方法〉

調査方法：漁業者がエクスマンバージ採泥器で採取した底泥を分析した。

調査地点：脇野沢、むつ、野辺地、青森

分析項目：

- ①化学的酸素要求量(COD)：アルカリ性過マンガン酸カリウム-ヨウ素滴定法。
- ②全硫化物(TS)：検知管法。
- ③強熱減量(IL)：550℃6時間強熱。
- ④粒度組成及び含泥率(MC)：湿式篩分法により粒径 63 μ m より小さい粒子の割合を求めた。

〈結果の概要・要約〉

内湾の水産用水基準値(2005年版)は、COD ≤ 20mg/g乾泥、TS ≤ 0.2 mg/g乾泥となっている。

CODについては、むつ、脇野沢が基準値を超えていたが、TSは全地点で基準値内であった(表1)。

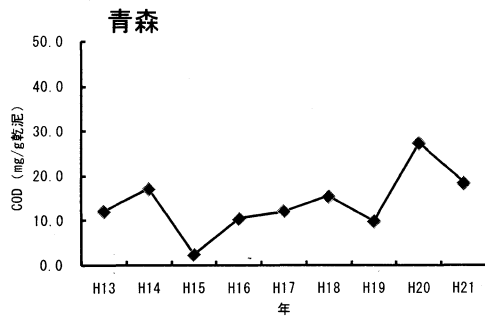
各地点の分析値の推移(図1)を見れば、平成21年度に大きく増加した項目はなく、漁場環境は概ね保全されているものと考えられた。

〈主要成果の具体的なデータ〉

表1 底質分析結果

調査地点	採取年月日	水深 (m)	COD (mg/g乾泥)	TS (mg/g乾泥)	IL (%)	MC (%)
青森 北緯40度40分 東経140度21分	平成21年9月24日	26.7	18.26	0.15	5.06	43.8
野辺地 北緯40度55分 東経141度09分	平成21年9月15日	31.0	15.77	0.02	2.98	7.5
むつ 北緯41度14分 東経141度09分	平成21年9月15日	18.0	28.44	0.16	9.82	76.4
脇野沢 北緯41度7分 東経140度50分	平成21年9月17日	35.0	31.55	0.08	8.01	25.2

COD



TS

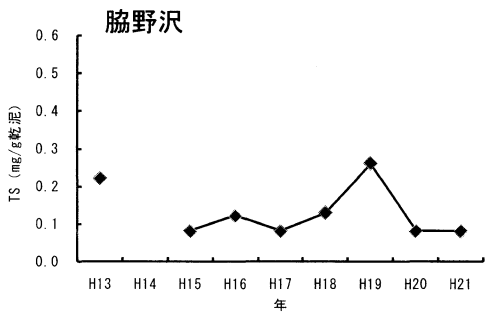
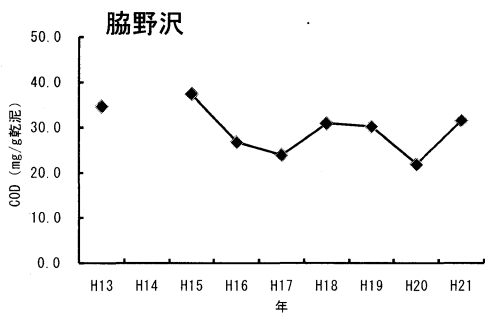
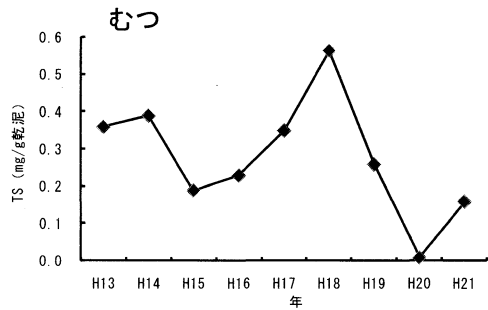
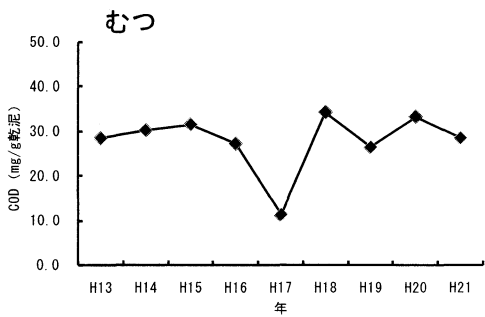
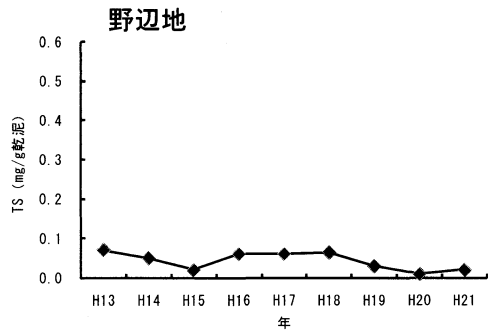
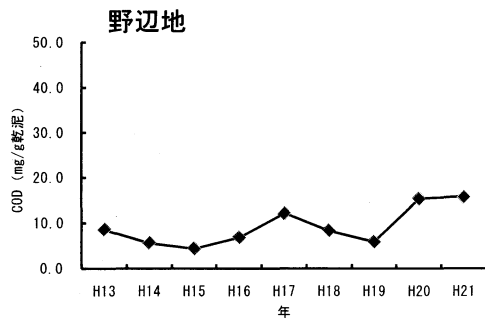
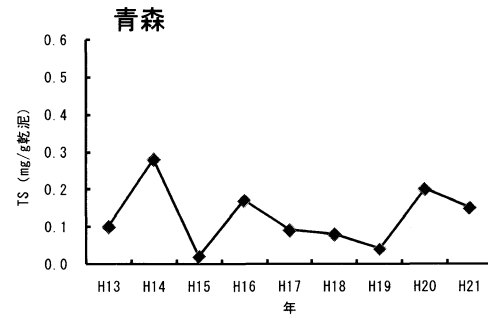


図2 CODとTS分析結果

〈今後の問題点〉

なし。

〈次年度の具体的計画〉

- ・4項目について引き続き分析する。

〈結果の発表・活用状況等〉

- ・平成22年2月22日に開催された漁業公害調査指導事業検討会で報告した。